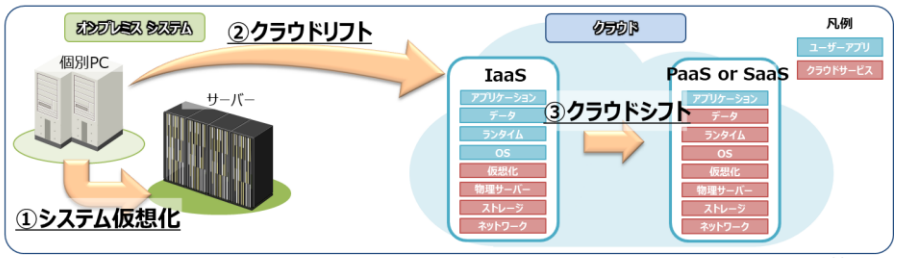
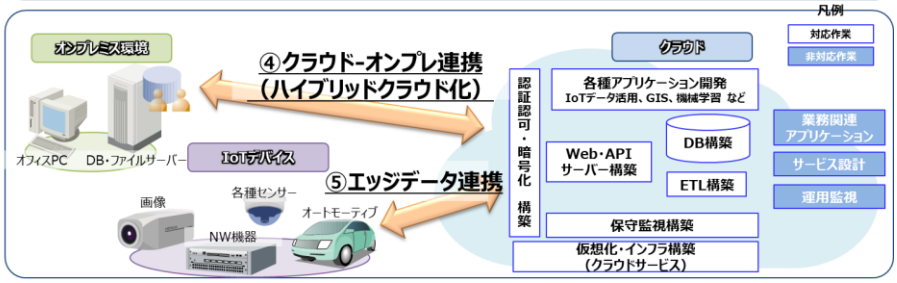
クラウドエンジニアリング サービスのご紹介

HITACHI
Inspire the Next

各分野の技術を用いたクラウドエンジニアリングサービス

下記技術＋プロジェクトマネージメントを合せて、クラウドエンジニアリングサービスをご提供します。





クラウド構築、リフト・シフトの各レイヤーに対応

クラウド構築に必要なインフラ～アプリケーション開発について、ご依頼に応じて試作、設計、開発を実施。各レイヤーの提供技術の一例を以下に示します。（詳細な提供技術は裏面参照）

対応クラウド　：　AWS、Azure、その他パブリッククラウド

アプリ	アプリケーション開発：	IoT	GIS*1	データレイク	AI・分析	
ミドル	ミドルウェア構築：	WEB構築	認証認可	DB	データ通信	ETL*2	監視環境
インフラ	クラウド構築：AI	インフラ構築	NW構築	状態監視	サービス設定	
NW・VPC*3						

＊運用・対応は非対応

AI　生成AIを活用して、構成設計を的確にサポート。ニーズにマッチしたSaaSサービスを選択

*1 GIS：Geographic Information System(地理情報システム)
*2 ETL：Extract (抽出)・Transform(変換・加工)・Load(格納)の一連のプロセス
*3 VPC：Virtual Private Cloud(仮想プライベートクラウド)

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

提供技術と資格

クラウド関連の各種資格を備えた経験豊富な技術者がお客さまのご要望にお応えします。
主要な技術、資格のみを記載しています。下表に無い技術についてもお問い合わせください。

◆主要な技術一覧

項	技術分野	OSS	AWS	Azure
1	DB	MariaDB、MySQL、Cassandra、PostgreSQL、influxDB、neo4j	DynamoDB	SQL Server
2	GIS	OpenStreetMap、PostGIS	–	–
3	IoT	MQTT	IoTCore	–
4	認証認可	Keycloak	ACM、cognito	–
5	Web	Grafana、FastAPI、Kong、Node.js、nginx、Django	API Gateway、Amplify、CloudFront	Web Apps
6	ETL	Elasticsearch、Rbbitmq、Kibana、NodeRed	–	–
7	機械学習	TensorFlow、Pytorch、Jubatus YOLO	sageMaker	–
8	監視	Zabbix、Prometheus、net-snmp	Cloudwatch	Backup
9	クラウド構築	Corosync、Libreswan、GPS、Pacemaker、zookeeper	EC2、Lambda、S3、ELB、CloudFormation	Blob Storage
10	仮想化	Docker、Kubernetes	–	–
11	開発	C、C++、Jenkins、Python、Ruby、SikuliX、Swagger、NodeRed	stepfunction	–

◆保有資格一覧

クラウド	レベル	資格名	保有人数
AWS	初級	AWS Certified Cloud Practitioner	41
	中級	AWS Certified Solutions Architect - Associate	28
	中級	AWS Certified Developer – Associate	11
	中級	AWS Certified SysOps Administrator - Associate	2
	上級	AWS Certified Solutions Architect – Professional	2
	上級	AWS Certified Security –Specialty	2
Azure	初級	AZ-900 Azure Fundamentals	5
	中級	AZ-104 Azure Administrator Associate	5
	上級	AZ-305 Azure Solutions Architect Expert	1
Google Cloud	初級	Cloud Digital Leader	1

※　上記資格保有数は、2024年9月末時点の状況
※　GoogleCloudの資格取得者の拡充中

Amazon Web Services、AWS、[およびかかる資料で使用されるその他の AWS 商標] は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

Azure、[およびかかる資料で使用されるその他の Azure 商標] は、マイクロソフト グループ企業の商標です。

GoogleCloudは、Google LLCの商標です。

重点取り組み

クラウドを用いたシステムの特長を下記のように考え、当社では主に３つに着目した取り組みを行っています。

異なる環境(各クラウド・オンプレ）の特性やサービスを連携したシステムの開発・構築の必要性

- NWで連携したシステムの構築
  - NWを介したシステム接続にセキュリティは必須
  - 障害要因の切り分けが重要
- クラウドサービス、サーバーレスを活用した開発
  - サーバーレス処理を含めた稼動監視・ログ収集が必要
  - 異なるクラウドやオンプレの柔軟な知見と対応が必要

認証認可

“ゼロトラストのアクセス制御”の対応のため、認証認可のコンテナ化・マイクロサービス化技術の提供に向けたプラットフォームを当社内に構築

クラウドリソース監視

下記対応のため、監視プラットフォームを当社内に構築
・リソースメトリクス監視(NW,CPUなど)
・サーバーレス処理の動作監視

AI マルチ・ハイブリッド クラウド

異なる環境やさまざまなサービスの活用
・主にAWS、Azureの実績拡充
・IoTエッジ連携の社内実証

AI 生成AIを活用して、異なるクラウドにおけるIaC生成のベストプラクティスに対応

クラウド構築・開発に関連した疑問、お困りごとがあれば、気軽にご相談ください。
当社のエンジニアが貴社のニーズをお聞きして、課題を解決します。

※記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です　※ちらしに記載の仕様、外観は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります
※印刷物につき、実際の製品・画像の色調と異なる場合があります
※本製品の開発・製造は、原則として日本国内での使用を想定して実施しています本製品を輸出する際は、輸出者の責任において、輸出関連法令などを遵守し、必要な手続きを行ってください
海外の法令および規則への適合については当社はなんらの保証を行うものではありませんなお、ご不明な場合は、販売店へお問い合わせください

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

〒220-6122
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3クイーンズタワーB　25F
https://www.hitachi-ite.co.jp/lineup/engineering/service/cloudeng/index.html

お問い合わせ

© Hitachi Information & Telecommunication Engineering, Ltd. 2024. All rights reserved.